

**生活支援体制づくり協議体会議（地域包括支援センター細江  
担当圏域レベル）開催報告書**

<b>1 開催日時</b>	令和 8 年 2 月 24 日（火） 10 時 00分 ～ 11時 30分
<b>2 開催場所</b>	奥浜名湖田園空間博物館 研修室・会議室
<b>3 参加者</b>	協議体委員16名（地区12 名、事業所4名） 関係機関17名（高齢者福祉課：2名、浜名福祉事業所（北）長寿保険課1名、コミュニティ担当4名、地域包括支援センター細江：2名、市社協北地区センター7名、）
<b>4 協議の内容</b>	ひなんさんぽの活用方法と令和8年度の協議内容について 1. 開会 2. 挨拶 生活支援体制づくり協議体 会長 3. 自己紹介 新任のみ 2名 4. 協議内容 ① 令和7年度 第2回協議体会議の振り返り *第2回開催報告書参照 ② 災害時の地域での連携について (1) ひなんさんぽの活動報告・進捗状況について 細江：1月8日 油田のサロンを対象に実施済 油田地区は都田川の対岸。600世帯、高齢化率30%以上。チラシを全戸配布し、自治会長や民生委員にも出してもらうようお願いをした。普段の防災訓練では、海拔24.5mの防災センターまで上がらないといけないため、高齢者は参加出来ない。これを機会に高齢者の方にも参加をして貰いたいと思っていた。当日は30名程参加したが、杖をついている方、普段防災訓練には参加しない人が参加してくれた。おしゃべりしながらさんぽしたのが良かった3月のサロンで改めて参加者と意見交換をする予定。 引佐：2月18日 渋川のサロンを対象に実施済 集会所から旧渋川小学校の跡地までの700mある道路に沿って河川が流れている。当日はさんぽをしながら危険箇所があるか確認した。自治会長や自主防災隊長サロン参加者など約30名が参加した。ここが危険というところは割合少なかった。実施後に振り返りをしたが、高齢者は安全な場所に避難した後あまり出歩かない方がいいという意見になった。若者は昼間働きに行っているため、地区内は高齢者のみになる。防災訓練をやっているが、高齢者だけでもサロンで年に1回ひなんさんぽのような活動が出来ればと思った。

三ヶ日:3月11日に西天のサロンを対象に実施予定。

サロンの参加者は60代から90代。地域内に三ヶ日駅やJA三ヶ日本所がある。地域内に釣橋川や神明川がながれ、橋がいくつもあるが、毎年のように雨が降ると釣橋川は危険水域を越えて、避難勧告が出ている。高齢化率が高く高齢者のみの世帯や日中高齢者のみになる世帯も多いのが課題。サロンを実施している西天会館から西天公園までの170mを歩く予定。サロンの参加者、民生委員、来年度の自治会長へやチラシを回覧して地域住民の参加も募っている。サロンの参加者と話し合って避難場所を西天公園にきめた。参加者には非常食を配る予定。

## (2) ひなんさんぽの活用方法について

- ・自分の組織や立場でどのように活用できるか

(引佐)

引佐サロン代表者の交流会の中でもひなんさんぽの事例の紹介をしてもらおう。そこからサロンの方にも広がっていけば。今回ひなんさんぽの必要性があることを知ってもらう機会になった。今回は高齢者サロンを対象としたが、ゆくゆくは自治会全体、大人、子ども、高齢者、全て含めた形で、地域の防災訓練等と合わせて、避難所まで歩き、実際に合わせた形での実施が理想。

(三ヶ日)

どうすれば危機感を感じるかが課題。ひなんさんぽから何を感じたか、それを参加者に理解してもらうことが大事。そのためには、活動報告をしっかりとアピールしないと参加者が増えない。また参加者に危機感をできるだけもってもらい、参加者を増やしていくことが大事ではないか。

(細江)

チラシをサロン研修会等で広げていくのが良いのでは。実施時に行政職員が来て色々な話を聞けた。他の地区でやる時にも来ていただき、色々な話を聞ければ良いのでは。各地区で広めて行き、年に1回ぐらいやっていければいい。

## ③令和8年度の協議内容について

### (1) 地域で聞かれる困りごとについて

(引佐)

高齢者の移動の課題が挙がった。バスで買い物をしなくてはならない声が聞かれている。引佐地区ではみどりバスがあるが、行きは良くても帰りが自分の目的にあった時刻に予約を取るのが難しい。また、高齢者のごみ出しも課題。自分では出せない方がどうしたらいいか相談も寄せられている。

(三ヶ日)

ひなんさんぽや防災の関係を継続していくのがよいのでは。ただ継続するのではなく、中学生等次世代の担い手を巻き込むのが良いのでは。今年は地域の防災訓練に中学生が大勢参加した。若い世代に対しても防災意識を深めるとともに、若い人が参加することで、地域のつながりづくりにも関わってくる。

(細江)

バスの減便、バス停までの距離など交通の不便さが課題。また、一人暮らし高齢者が増えているが、一人暮らしの高齢者の方の見守りが今後課題。高齢化や怪我でゴミが出せないというような困りごとをよく聞く。最終的には地域のつながりが大事になってくるのでは。

5. 令和8年度第1回会議開催日程（案）について

令和8年7月頃 予定

\*事前打合せ；6月頃 予定

6. 閉会挨拶 副会長

**5 今後の見通し・  
必要な対応**

災害時の連携については今年度で一区切りとする。ひなんさんぽの報告書を作成し、自治会連合会や地域のサロンで報告し、地区内へ広げていく。令和8年度の協議内容については、第1回圏域共有会議で検討後、第1回協議体会議にて提案する。